

2008年7月3日

山口県

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

～山口県とセブン-イレブン・ジャパン～
『地域活性化包括連携協定』を締結
～地産・地消、健康増進、高齢者支援等 10 分野で相互連携開始～

山口県（県知事 二井 関成）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、2008年7月3日（木）、地産・地消や健康増進、高齢者支援等 10 分野において相互の連携を強化し、山口県内における地域の一層の活性化に資する『地域活性化包括連携協定』を締結いたします。

なお、山口県が民間企業とこうした包括協定を結ぶのは今回が初めてとなります。

記

1. 協定の名称 『地域活性化包括連携協定』

2. 協定締結日 2008年7月3日（木）

3. 協定締結の目的

山口県とセブン-イレブン・ジャパンの、地域活性化に向けた緊密な相互連携・協働の取組による、「住み良さ日本一の山口県」の実現

4. 連携事項

上記の目的を達成するために、次の項目について連携し協力していきます。

- ① 地産・地消の推進および県産農林水産物・加工品等の開発・販売に関すること
- ② 県政情報の発信に関すること
- ③ 健康増進、食育に関すること
- ④ 子ども・青少年育成に関すること
- ⑤ 高齢者等への支援に関すること
- ⑥ 観光の振興に関すること
- ⑦ 「おいでませ！山口国体・おいでませ！山口大会」に関すること
- ⑧ 環境問題の対策に関すること
- ⑨ 地域や暮らしの安心・安全および災害対策に関すること
- ⑩ その他地域社会の活性化、住民サービスの向上に関すること

<ご参考>

山口県内のセブン-イレブン店舗 222 店舗（2008年6月末現在）

具体的な連携事業

(1) 地産・地消の推進および県産農林水産物・加工品等の開発・販売に関すること

【実施中】

- 県産農林水産物・畜産物を活用した商品の開発と店舗販売
 - ・「食べてみんさい 山口の味 うまいもの弁当」を協定締結記念商品として販売
- 山口県にちなんだ「味」「郷土料理」の商品開発と店舗販売
 - ・山口県産食材を使用した「千石台大根を使った冷たいおろし牛肉うどん」「小野茶を使った緑茶のシュークリーム」「小野茶を使ったワッフルサンド」の販売
 - ・チラシ等の販促物を作製し、セブン-イレブン店頭他に掲示・告知
 - ・対象商品には「住み良さ日本一ロゴマーク」シールを貼付し、協定締結を告知
 - ・店舗内外での「住み良さ日本一おひろめ☆たい志」の幟やロゴマークの表示により、「住み良さ日本一の県づくり応援キャンペーン」を告知
- セブン-イレブン店舗を活用した商品展開の実施
 - ・前項に掲げた開発商品について、山口県内のセブン-イレブン店舗 222 店舗（2008 年 6 月末現在）にて、商品展開を実施する。

【検討中】

- ◆ 地産・地消の更なる推進
 - ・県産品（山口県産米、はなっこりー、山口あぶとまと、萩たまげなす、アンコウ）等を商品へ活用
 - ・県産野菜を加工した商品（米飯、麺類、デザート、惣菜、サラダ）の開発
 - ・県産畜産物を加工した商品（米飯、麺類、デザート、惣菜、サラダ）の開発
 - ・地産・地消の PR
- ◆ 県の食文化を活かした商品の開発・販売
 - ・山口の食文化に根ざした、山口を感じる料理やメニューを地域団体及び県内企業の協力を得て開発・販売
 - ・県産加工品のセブン-イレブン店舗での販売コーナーの設置
- ◆ セブン-イレブンギフトでの県産農林水産物、加工品等の販売
- ◆ ネットビジネスでの県の銘酒紹介と販売
- ◆ セブンミールサービスにて県の特集「山口フェア」を実施

(2) 県政情報の発信に関すること

【実施中】

- セブン-イレブン店舗に「山口県情報 Pocket」を設置
 - ・県刊行物の設置スペースの確保

【検討中】

- ◆ 各種県政情報ポスターの掲示

(3) 健康増進、食育に関すること

【実施中】

- 弁当・惣菜におけるカロリーや栄養成分の表示
- ファーストフードにおけるアレルギー物質の表示
- お食事配達サービス「セブンミール」を活用した、バランスのとれた食事の提供を通じて、食育を推進
 - ・管理栄養士が監修したバランスの取れた本格的なお総菜や簡単に調理できる食材セットを提供
- セブン-イレブン店舗を「やまぐち健康応援団」に登録
 - ・シンボルマーク「スマイルくん」を店舗で表示し、「健康のまちづくり」を推進

【検討中】

- ◆栄養バランスがとりやすく、かつ食事バランスガイドを表示している商品の開発・販売

(4) 子ども・青少年育成に関すること

【実施中】

- 県内の小中学生を対象とした職場体験の受け入れ
 - ・県内セブン-イレブン・ジャパン直営店をはじめ既に実施している店舗も含めて、順次協力店舗を拡大
- セブン-イレブン店舗でのセーフティステーション活動を通じた青少年健全育成への取り組み
 - ・未成年者への酒類、たばこの販売禁止、年齢確認の徹底
 - ・18歳未満者への成人誌の販売、閲覧禁止、有害図書の区分陳列及び区分表示の実施
 - ・少年、少女の非行防止等（近隣住民の方の迷惑となるたまり場化の防止）

※セーフティステーション活動：

2005年10月から社団法人日本フランチャイズチェーン協会に加盟する12社、全国約42,000店のコンビニエンスストアが、社会的責任の一環として「安心・安全なまちづくり」並びに「青少年の健全化」に取り組む自主的な活動

【検討中】

- ◆「やまぐち子育て家庭応援優待協賛事業所」としてのサービスの提供
 - ・例) 乳児の授乳用ミルクのお湯の提供
- ◆「やまぐち教育応援団」に登録し、学校活動への支援を実施

(5) 高齢者等への支援に関すること

【実施中】

- ユニバーサルデザインの考え方を採り入れた店舗設計や商品表示
 - ・「店舗への入りやすさ」「商品の見やすさ」「快適さ」の3つをテーマに、誰もが使いやすい快適な店舗づくり
 - ・高齢者にもわかりやすい文字での値札の設置
- セブン-イレブン店舗でのセーフティステーション活動を通じた高齢者、障害者等の介護補助と連絡

(6) 観光の振興に関すること

【実施中】

- おいでませ山口デスティネーションキャンペーンへの協力
 - ・「イベントガイドブック」の配置

【検討中】

- ◆県内観光情報の提供
 - ・ポスターの掲示、観光パンフレットの設置、近隣文化観光施設の紹介

(7) 「おいでませ！山口国体・おいでませ！山口大会」に関すること

【検討中】

- ◆セブン-イレブン店舗にて両大会の PR
 - ・ポスター、パンフレット等の設置
- ◆両大会マスコット「ちよるる」を活用した商品の販売及び商品開発

(8) 環境問題の対策に関すること

【実施中】

- 配送車両の CO2 削減
 - ・配送車両の自主管理基準の作成
 - ・配送車への新型車載端末の設置を通じて、エコドライブ意識の向上
- セブン-イレブン店舗の電力使用量の削減
 - ・店舗蛍光灯に Hf 型蛍光灯を使用
 - ・季節・天候・時間帯で変化する採光量に合わせて、自動調整する連続調光装置導入
 - ・IH 式のおでんウォーマーの導入
- セブン-イレブン店舗におけるレジ袋削減の取組み
 - ・お客様に対して、レジ袋不使用の声かけの実施（少量購入のお客様に対して）
 - ・エコバッグの販売

【検討中】

- ◆セブン-イレブン店舗設備への LED 照明の導入
- ◆セブン-イレブン店舗で販売期限切れのお弁当や惣菜等の食品資源を飼料化・堆肥化
 - ・その飼料や肥料で生産された肉や野菜を食材に使ったお弁当・惣菜を販売することで、循環型社会の実現に貢献
- ◆森林の保護・整備および活性化
 - ・「セブン-イレブンみどりの基金」による、環境団体や NPO 法人等への支援
- ◆省エネ電球取替促進キャンペーンへの参加

(9) 地域や暮らしの安心・安全および災害対策に関すること

【実施中】

- セブン-イレブン店舗におけるセーフティステーション活動を通じた地域の安全対策・防犯対策の取組み
 - ・「子ども 110 番の家」への参加など、女性、子供等の駆け込み対応（急病・怪我・不審者につけられた時、迷子保護等地域の駆け込み寺とし、地域住民の安全・安心をサポート）
 - ・自主防犯（強盗・万引き等の防止対策）体制の整備
 - ・県警のメルマガなどを受信し、地域顧客への安全情報の発信・提供

- ・緊急事態（災害・事故）に対する 110 番・119 番通報の実施
- ・防犯カラーボールの店内配備

■「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」

※平成 19 年 1 月 18 日協定締結済み

【検討中】

- ◆災害時、徒歩帰宅困難者に対して水道、トイレ、周辺情報等を提供
- ◆災害時に入手した被災状況等のお客様、行政や警察等への提供

（10）その他地域社会の活性化、住民サービスの向上に関すること

【実施中】

- セブン銀行 ATM での「振り込め詐欺の注意喚起」表示
- セブン-イレブン店舗を「住み良さ日本一 おひろめ☆たい志」に認定
 - ・店舗内外での幟やシンボルマークの表示

【検討中】

- ◆セブン-イレブン店舗で「山口県民手帳」の販売
- ◆連携事業の内容について、山口県とセブン-イレブン・ジャパンとのホームページの相互リンク
- ◆県内授産施設で作られる製品の販売場所の提供（限定店舗）